

# 大久保地域見守り隊の発足にあたって

安全・安心分科会では、「自分たちの地域は自分たちで守ろう」を合言葉に、そのための仕組み作りを検討してきました。それには、大久保地域の各団体が独自に行っている安全・安心に関する活動をネットワーク化することにより、地域ぐるみの見守り活動へと発展させていくきっかけ作りをしたいと考えました。

まず、現在活動している地域団体同士が情報を共有し、お互いに意見交換できるような場として、10月に第1回目の懇談会を開催し、大久保地区の町会・自治会、育成委員会、小・中学校、同PTA、児童館、保育園など多くの団体の方にお集まりいただき、地域の安全・安心について話し合いました。

分科会委員の皆さんからは、活動の輪を広げるため、活動のシンボルとなるような物を作ってはどうかと言う提案があり、エンブレムを作成しました。

新宿シンちゃんは、アンパンマンでおなじみの漫画家やなせたかし様（名誉区民）が防犯用マスコットとしてデザインし、新宿区に寄贈されたものです。新宿シンちゃんは、本活動の趣旨や目的に合っていることから、この絵を活かすこととしました。

現在は、隊員がちょっとまちを歩くときなどに、エンブレムを身に付けて見守り活動を行っています。また、大久保地域の多くの地域団体にエンブレムをお配りし、それぞれの団体がお祭りなどの地域行事、美化活動、防犯活動などをするときにも着用していただいております。

見守り活動を継続するには、無理なくできることから始める必要があります。自転車のかごに取り付けた「防犯パトロール中」のように、普段大久保のまちを歩く際にエンブレムを着用し、「ついでパトロール」を行いたいと考えております。

今後は、団体同士が連携して活動を行ったり、他の団体を参考にして自分たちの活動の改善につなげたりすることができれば良いと思います。

平成18年10月27日

大久保地区協議会 安全・安心分科会会長

大 和 涼 子